

神戸学院大学 第3次中期行動計画 中期計画（第3層） 2023年度達成度評価表 分野：学生支援

		評価	理由
中期目標	学生の成長を支える総合的な学生支援を実施します。		
中期計画	1 学生生活支援の充実	B	医務室の定期的なミーティングにより、キャンパス間の情報共有を行い、学生の健康支援の充実に向けた取り組みが進んでいることは評価できる。しかし、学生の定期健康診断の受診率については、2022年度と比較すると改善したものの、依然として目標受診率は達成できておらず課題である。引き続き、定期健康診断の受診率向上に向けて、広報活動の充実が望まれる。
中期計画	2 修学支援の充実	B	修学にあたり特に支援が必要な学生については、学生の未来センターを中心に支援する体制ができています。学内諸会議や5周年シンポジウムを通じた学生の未来センターへの理解促進に向けた取り組み、また、学部・研究科・部署との連携による支援が必要な学生の早期把握が進んでおり、評価できる。学生への経済支援については、より充実した奨学金制度の立ち上げに向けた検討が行われ、目指すべき奨学金制度の方向性を定めることができています。今後も、様々な方面から修学支援の充実を図るとともに、全学的な連携が進むことを期待する。
中期計画	3 学生の多様性に配慮した支援	B	障がいのある学生の支援において、学生支援センターを中心として教職員に対する意識啓発が進んでいる。特に、全事務職員を対象とした研修を開催し、合理的配慮の提供にかかる考え方や留意点などを共有できた点は、評価できる。今後は、事務職員に加えて教員及び学生へ発信する機会を設けたり、FD・SDの実施、学部・研究科・センター・部署間における連携強化等を行ったりすることで、全学的な意識啓発や学生の多様性に配慮した支援がさらに進むことを期待する。

中期計画	4 課外活動の奨励と支援	B	課外活動団体に支給する奨励金や強化費の制度を見直し、課外活動のさらなる活性化を図ることができている。また、課外活動施設の整備においても、課外活動団体へのアンケートに基づき、必要性に応じた施設の整備が進んでいる。今後は、課外活動のさらなる活性化に向けた広報の強化や、課外活動施設を有するポートアイランド第2キャンパスのさらなる活用を期待する。
中期計画	5 キャリア支援の充実	B	本学主催のインターンシップ、単位認定型就業体験プログラム、就職支援協定締結府県主催行事への事務職員の参加等によるキャリア支援が継続できている。キャリアセンターによる進路把握率の上昇につながっている。また、グローバル・コミュニケーション学部における独自のインターンシッププログラムの実施、心理学研究科における公認心理師のキャリア支援等、学部・研究科独自のキャリア支援も確立できている。今後も、全学的な学生のニーズに応じたキャリア支援の推進が望まれる。

評価 S：目標よりはるかに上回る、A：目標をやや上回る、B：おおむね目標どおり、C：目標をやや下回る、D：目標をかなり下回る